



八幡小だより

創立 150 周年目の山鹿市立八幡小学校

令和 6 年度学校だより No.23

2025.3.19 (水) 発行 校長 森 每恵



強く正しく明るく

1 年生活科の学習～昔遊び 老人会の皆様との交流

3月7日、けん玉・お手玉・突き鉄砲・おはじき・竹とんぼ・あやとりなどの昔遊びを老人会の皆様から教えていただいた1年生。どの子の顔も笑顔いっぱいでした。どの遊びもコツがあって、簡単にはいきません。だからこそ、夢中になれるのかもしれないね。閉会行事では、感謝の気持ちを込めて手話付きの歌を披露し、手作りメダルのプレゼント。老人会の皆様には、大変喜んでいただきました。手や体を使って、対面で楽しむ遊びのよさを感じ取っていました。



6 年生歴史学習：日輪寺

公民館主催行事の一環で、日輪寺の本堂を会場に、地域歴史に造詣の深い宮川さんを講師にお迎えして、赤穂義士と山鹿の繋がりについてお話をうかがいました。また境内も散策させていただきました。八幡公民館長の迫本先生から「ふるさと八幡を誇りに思い、頑張ってもらいたい」との激励の言葉もいただきました。



委員会引き継ぎ式

これまで八幡小を力強く、引っ張ってくれた各委員会の6年生。本当によく頑張ってくれ立派でした。引き継ぎ式での新リーダー5年生の堂々とした姿を見て、新組織で現3・4年生と協力しながら、素敵な八幡小を創ってくれと確信しました。



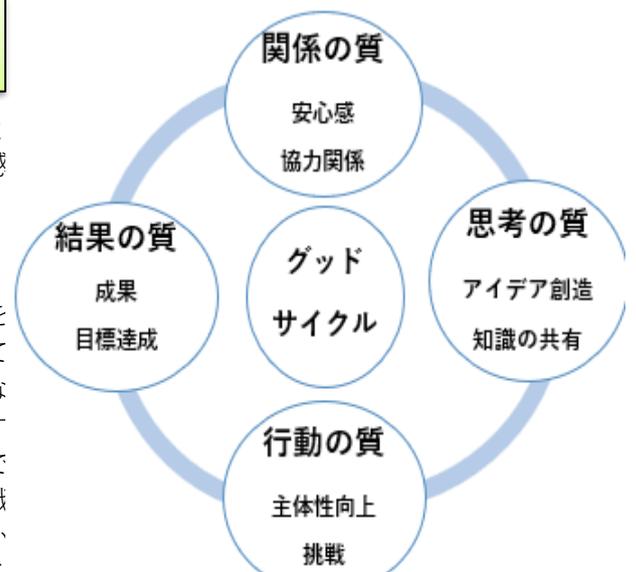
手作り雑巾 200 枚！

杉区老人会から、手作り雑巾を200枚程もいただきました。長瀬シズさんの手作りだそうです。きっと、八幡っ子の喜ぶ顔を思い浮かべながら1枚1枚、縫ってくださったのだらうと思います。地域の方々の温かいお気持ちが身にしみます。



6 年生への講話から ～「成功循環モデル」の考え方～

ダニエル・キム氏が提唱した組織運営の枠組み「成功循環モデル」を紹介します。所属の関係の質が高まれば（安心感を感じ、協力し合える関係など）、思考の質が高まり（豊かなアイデアが生まれ）、行動の質が高まり（主体的な行動が増え、いろいろなことに挑戦でき）、結果の質が上がる（目標が達成され、経験値が上がる）という考え方です。悪口を言われる、仲間外しにされる、そのような空間では萎縮してよい循環は生まれません。学級や学校ばかりでなく、様々なグループ、地域、職場など様々な組織の長期的成功を目指す考え方です。心理的安全性が確保され、安心感が持てる場でこそ、豊かで斬新な考えが生まれ、新しいことに進んで挑戦しようという意欲がわきます。グッドサイクル（物事のよい循環）のスタートは、認め合い協力し合う、安心な関係づくりから。大事にしていきたいものです。



ダニエル・キム 成功循環モデル